

動作がおかしいと思った場合の対処

レーザー加工機の操作パネルが消えている

レーザー加工機の操作パネルの液晶画面は一定時間操作を行わないと自動的に消灯します。ESCなどのボタンを一度押下すると、表示されるようになります。設定につきましては、SUNMAX-QSの取扱説明書を参照してください。

制御用PCで、レーザー加工機の電源を入れると「新しいハードウェアの検出」が表示される

USBキーを抜き差ししてみてください。あるいは、次の順序で起動してください。

- ①制御用PC、レーザー加工機の電源がOFF、USBキー未装着
- ②制御用PCを起動する。
- ③USBキーを制御用PCに差し込む
- ④しばらくしてからレーザー加工機の電源をON

同じ制御用コンピュータをでもUSBキーを差し込むポートを変更した場合に発生することがあります。このときは、以前動作していたポートにUSBキーを差し替えてください。

レーザー加工機の動作がおかしい

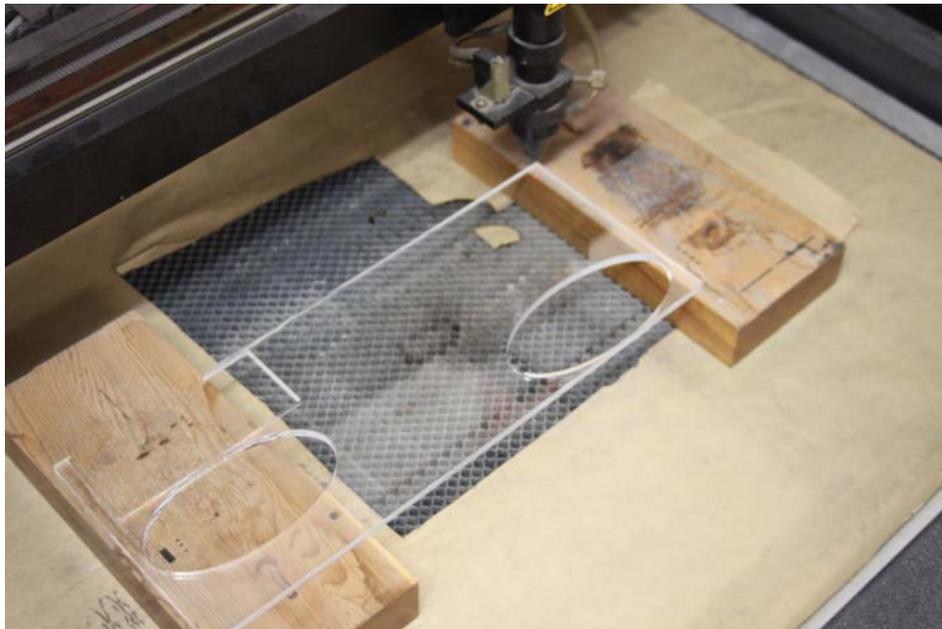
制御用ソフトウェアLaserCutが二重起動している可能性があります。制御用パソコンを一度再起動してください。その後LaserCutを立ち上げ、ダウンロードより「設定のダウンロード」および「データのダウンロード」を行ってください。

設定していない位置にレーザー照射痕が付く



ハニカムテーブルより加工素材を浮かせた状態で加工していませんか？

下の写真のようにハニカムテーブルから浮かせた状態でくり抜き加工を行うと、くり抜き加工直後に製品が落下して、設定していない部位にレーザーが照射されることがあります。切断の設定で「重なり」が設定されている場合、くり抜き直後もレーザーが照射されるため起こる現象です。



- ・ハニカムテーブル上で加工を行う。
(あるいはハニカムテーブルからの距離を数ミリ程度に抑える)
- ・製品の落下防止措置をとる等の対策をして下さい。

